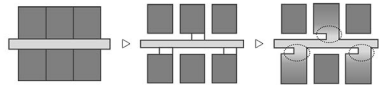
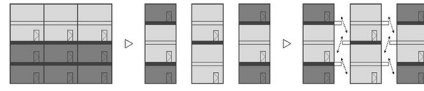


おとなりの行方。

「隣人」とはいわば、家を並べ積んでいくことの副産物である。合理的に住まう代わりに私事をつつく、それは見えた外力にほかならない。ならばせめて、その気配だけでも遠くに飛ばせないだろうか。それでいて、孤独を強いるようなものでもない。近くでありながら同時に遠くもある状態を模索した。その結果、それは孤立した住戸と友好的なギャップというかたちであられた。各住戸を分離させ、共用廊下から引き離し、そして住戸種別を分散させることでそれらの戸口に距離をとる。いったいおとなりは何処になるのか。その行方をたどるとき、翻ってギャップが紐帯となるような、守ることで受け容れることの間暮らす家が見つかるかもしれない。



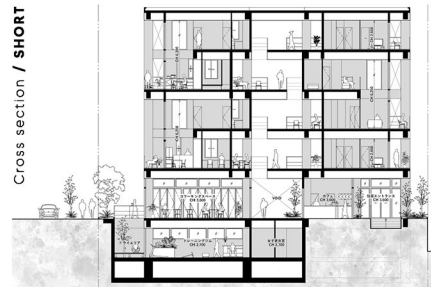
PLAN OPERATION



ELEVATION OPERATION



Cross section / LONG



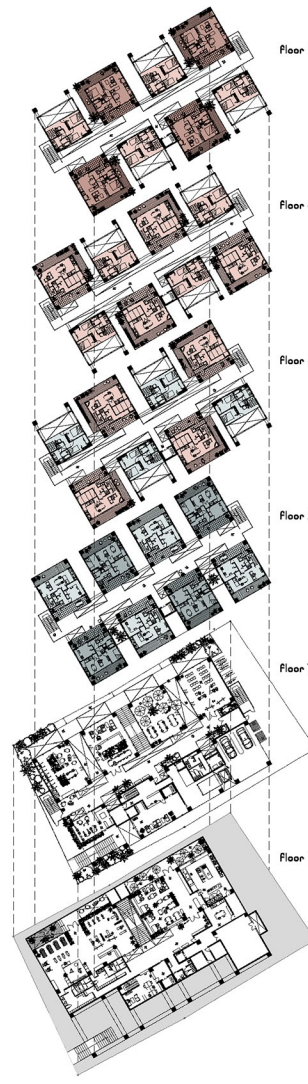
Cross section / SHORT



居住層のコリドーを見通す。



メゾネット住戸の2階からLDKを見下ろす。



HOME-Flat / 4 units

夫婦ふたりだけのためのフラット住戸。コリドーからポーチ、ダイニング、リビングと私のグラデーションを描き、寝室はその軸の外側に配置。個の暮らしを守りながら来客を歓迎する。

HOME-Maisonette / 8 units

核家族のためのメゾネット住戸。ポーチに面する小上がりの和室は、内外を繋いで客間としても利用できる。住戸を稼取る1字のバルコニーは、隣人や街とのバッファーとして、守りながらも住み開くことを許容する。

SOHO-Maisonette / 4 units

核家族のための自宅兼仕事場のメゾネット住戸。寝室やサニタリーなどの私的な機能は上階にまとめ、仕事等の来訪者の動線を考慮し階段はリビングに繋ぐ。上階には大開口から街の望むちょっとした場所を用意。

SOHO-Flat / 4 units

単身世帯のための自宅兼仕事場のフラット住戸。南北で公私の境界を引き、コリドーに面するポーチはワークスペースとの一体的な利用も可能で、時にはそこで仕事の打ち合わせをしたりすることも。



3F Partial plan / HOME FLOOR



2F Partial plan / SOHO FLOOR